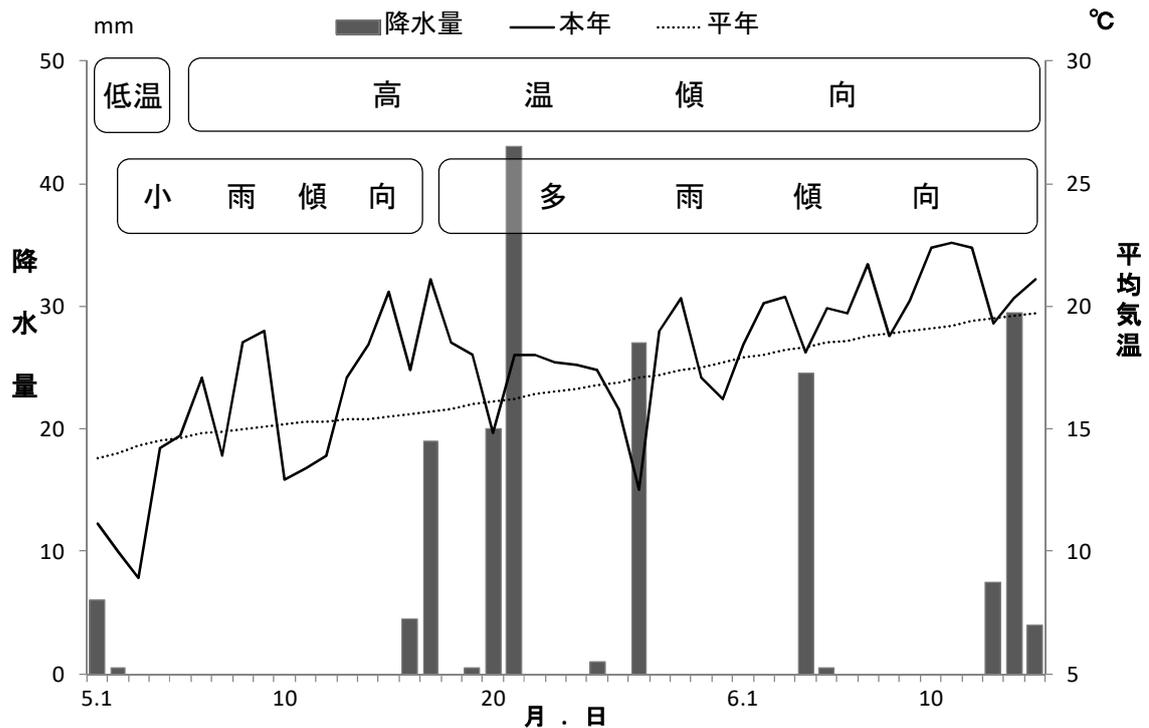


令和3年 作物技術普及情報 第10号

麦の生育状況・成熟期予測、水稻の生育状況・水管理 について

令和3年 気象経過(穂高アメダス 5月1日～6月15日)



1 気象状況

依然として高温傾向が続いています。6月17日気象庁発表の、向こう1か月予想では、平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は平年並または多いと予想されています。平均気温は平年並みと予想されています。

2 麦の収穫状況と小麦の成熟期予測

- 6月17日現在、生育の良好な圃場の現在の生育ステージは、以下の通りです。

【大 麦】 概ね収穫終了
 【小 麦】 登熟後期～成熟期

- 6月15日現在の積算気温による成熟期の推定です。コンバインや乾燥施設の稼働準備や収穫作業にご活用ください。

【参考】 登熟積算気温による大・小麦の成熟期の推定(6月15日現在)

成熟期までの積算気温を大麦は650～700℃、小麦は850～900℃として推定しています。
 平均気温は穂高アメダス値です。6月15日までは本年値、以降は平年値を用いています。

月 日	平均気温	大 麦			小 麦			
5月1日	11.1	128	67	11	5月1日出穂圃場			
5月2日	10.0	138	77	21	10			
5月3日	8.9	147	86	30	19			
5月4日	14.2	161	100	44	33			
5月5日	14.7	176	115	59	48			
5月6日	17.1	193	132	76	65			
5月7日	13.9	207	146	90	79			
5月8日	18.5	225	164	108	97			
5月9日	19.0	244	183	127	116			
5月10日	12.9	257	196	140	129			
6月15日	21.1				797			
6月16日	19.8				817			
6月17日	19.9				837			
6月18日	20.0				成 857			
6月19日	20.1				成 877			
6月20日	20.2				成 897			
6月21日	20.3				成 918			
6月22日	20.4				成 938			
6月23日	20.5				成 959			
6月24日	20.6				成 979			
6月25日	20.8				成 1000			
6月26日	20.9				成 1021			
6月27日	21.0				成 1042			
6月28日	21.1				成 1063			
6月29日	21.3				成 1084			
6月30日	21.4				成 1106			

●小麦の収穫について

生育の早い圃場では6月21日頃より収穫が開始されると思われます。

大麦は凍霜害で登熟ムラが大きく、収穫や乾燥調整でご苦労されたかと思いますが、小麦についても同様な状況になると思われます。

赤かび病の発生状況の確認も含め、生育状況に対応した収穫・乾燥調整で良質な小麦が生産できるようお願いいたします。

3 水稲の生育状況

- 6月15日現在、水稲の生育は、あきたこまちで概ね平年並み。コシヒカリで平年より2日程度進んでいると思われます。

標高別、田植え時期別の生育状況については、別添「松本地域における発育指数（DVI）による水稲生育予測」をご覧ください、追肥作業にご活用ください。

安曇野市 豊科 標高550m 5月15日植(稚苗)の場合													
コシヒカリ 稚苗	DVI	幼穂長 2mm	幼穂長 10mm	出穂期	あきた こまち 稚苗	DVI	幼穂長 2mm	幼穂長 10mm	出穂期				
		の予測日	の予測日	の予測日			の予測日	の予測日	の予測日				
		本年	0.425	7月14日			7月21日	8月6日	本年	0.527	7月6日	7月13日	7月29日
		平年	0.398	7月16日			7月23日	8月9日	平年	0.511	7月6日	7月13日	7月28日
		平年差	平年より2日早				平年差	平年並み					

注) 幼穂長2mm = 幼穂形成期

注) 幼穂長2mm = 幼穂形成期

- 定点圃場における6月15日の生育調査では、平年より草丈はやや長く、莖数もやや多くなっています。

6月15日現在 水稲生育状況

	安曇野市豊科 水稲奨決ほ (5月15日田植) (標高: 560m)					
	コシヒカリ		あきたこまち		美山錦	
	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)
本年	34	362	32	313	34	297
平年	30	345	29	298	31	262
平年比	113%	105%	110%	105%	110%	113%

4 水稲の今後の水管理について

- 表層剥離やガスわきの発生の目立つ圃場が増えてきました。

発生の目立つ圃場では、根の活力低下や根張りが不良になるので、1日程度の落水短期や水の入れかえを行い、土壌へ酸素を供給し、根の健全化を図りながら、中干しに移行してください。

- 中干しは茎数25本/株を目標として、中干しを開始するようご指導をお願いします。

6月15日現在、5月上旬に田植えされた圃場の茎数は20～22本/株で、6月20日頃には25本/株以上になると予想されます。



5月上旬植 20～22本/株 6月12日撮影

雨が多いと完全に干すことはできませんが、中干しにあたっては必ず水尻を切り、圃場に水がたまらない管理をお願いします。

- 除草剤の処理について

雑草の発生の目立つ圃場が散見されます。ヒエやホタルイは葉令が進んでから気づく場合が多いので、今一度圃場の状況を確認し、残草状況によっては、後期剤の対応をお願いします。